

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

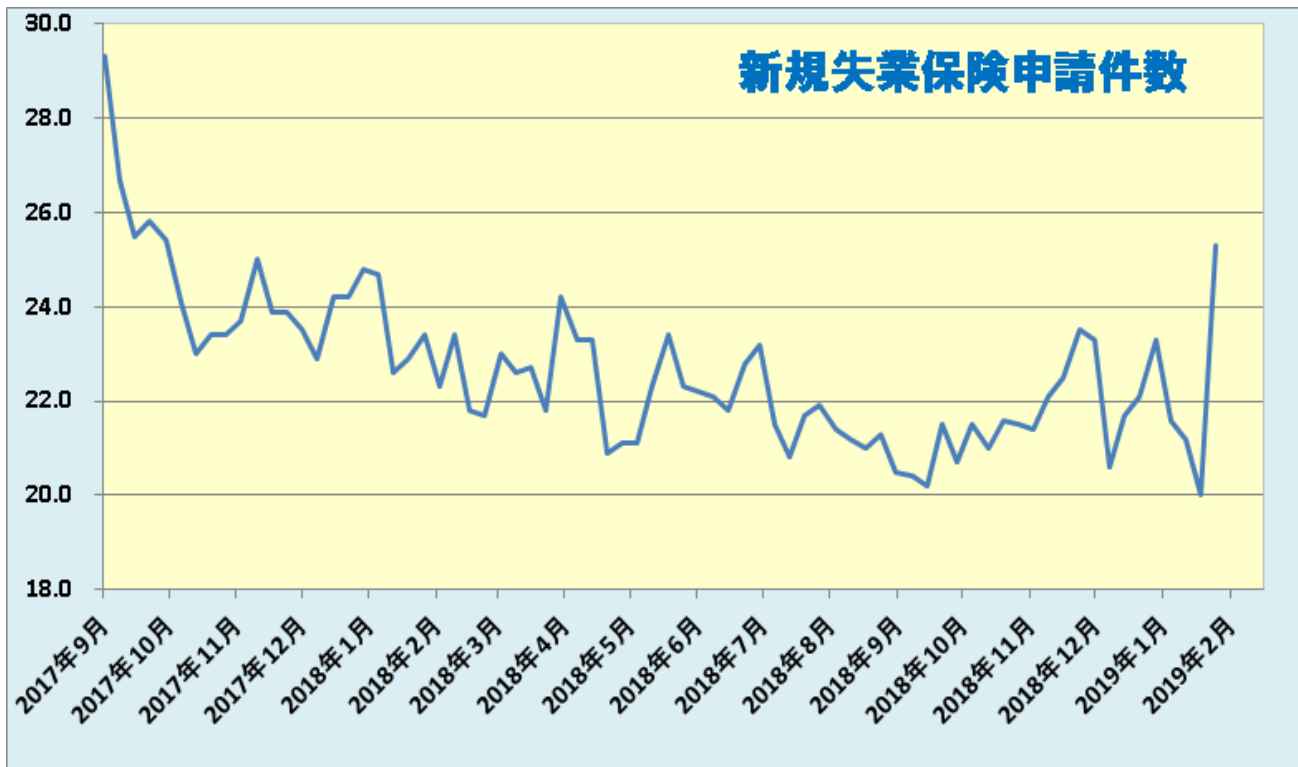
NY 市場では、米新規失業保険申請件数が予想以上に悪化したことを受けて、ドルは序盤やや軟調な動きとなった。その後は、米中間僚級の通商協議の進展期待などから、米主要株価が堅調な動きとなったことが好感され、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。そして、トランプ米大統領が中国との協議は進展しているとしたことも下支え要因となり、底固い動きが続いた。ただ、ユーロは当局者の発言が影響し、主要通貨に対して軟調な動きが続いた。

主要な米経済指標結果

新規失業保険申請件数 25.3 万件（予想 21.5 万件・前回 19.9 万件⇒20.0 万件）

失業保険継続受給者数 178.2 万人（予想 172.5 万人・前回 171.3 万人）

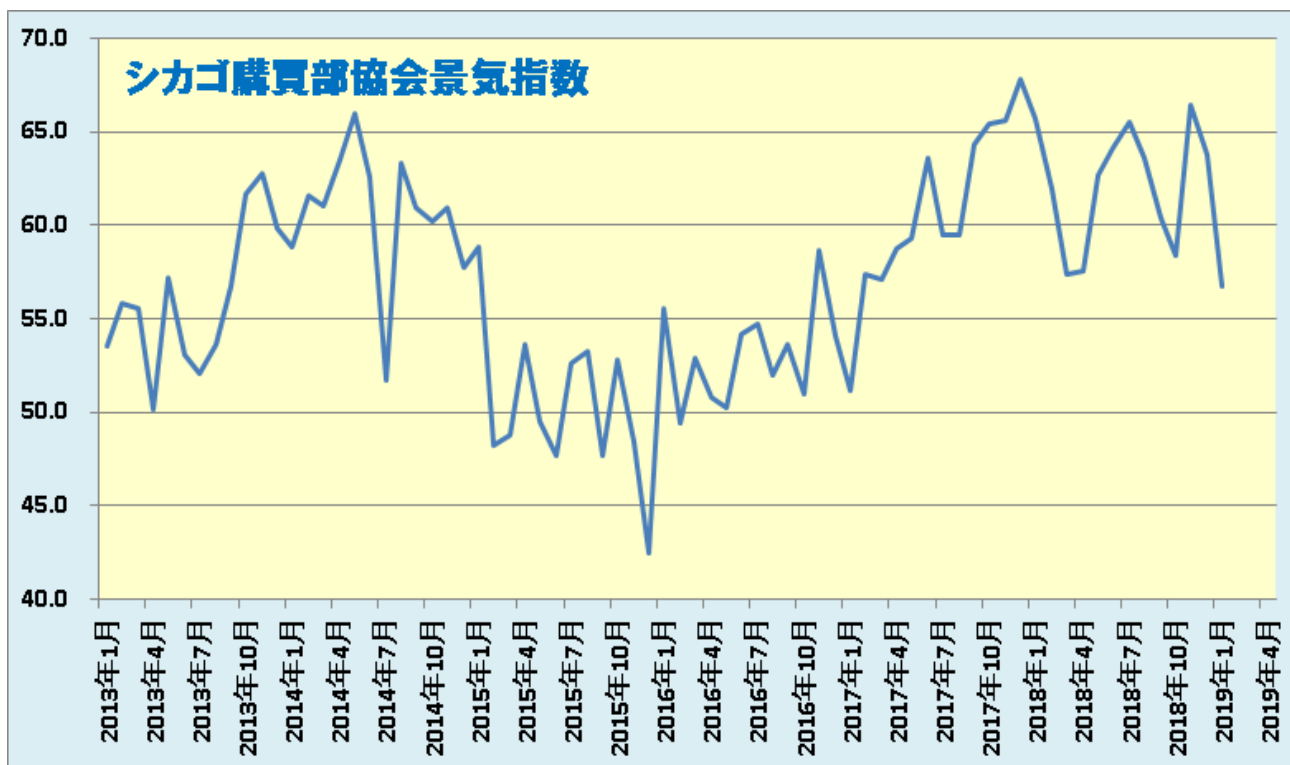
米失業保険申請件数は、前週比+5.3 万件となり、2017/9/30 までの週以来、約 1 年 4 ヶ月ぶりの高水準となった。中期ベースの統計として参考にされる申請件数の 4 週移動平均は、前週比+0.5 万件の 22 万 250 件だった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+6.9 万人の 178.2 万人となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+0.8 万人の 173 万 7750 人だった。



データを基に SBILM が作成

シカゴ購買部協会景気指数 56.7 (予想 60.8・前回 65.4⇒63.8)

シカゴ購買部協会景気指数は、市場予想を大きく下回る結果となり、2017年1月以来の低水準となった。また、前回結果も下方修正されるなど、製造業の鈍化傾向が続いていることが示される結果となった。ただ、マーケットの反応は限定的だった。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均は小幅安、ナスダックは大幅続伸

米株式市場は、まちまちの結果となった。ダウ平均株価は米化学大手の四半期決算が市場予想を下回ったことが影響し、序盤から軟調な動きとなり、前日比 172 ドル安まで下落した。ただ、米 FRB 追加利上げを一時停止する方針を示したことが引き続き好感され、一時プラス圏まで上昇する場面もあったが、上値は重い動きが続き、小幅安となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、好決算を発表した交流サイト大手などが買われたことが下支え要因となり、連日の大幅高となった。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	-9.23%	1	ダウ・デュボン	-9.23%
2	金融	-1.23%	2	ゴールドマン・サックスG	-2.21%
3	テクノロジー	-0.11%	3	ビザ	-1.88%
	石油・ガス	1.42%		ファイザー	2.09%
	通信サービス	1.96%		キャタピラー	2.34%

データを基に SBILM が作成

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。